

やまなし 市議会だより

平成22年 8月24日

第22号

山梨県市議会議長会議員合同研修会

山梨県市議会議長会議員合同研修会



8月11日、南アルプス市において、山梨県市議会議長会議員合同研修会が県内13市の市議会議員多数出席のもと開催されました。この研修会では、市町村アカデミー客員教授の大塚康男先生を講師に招き、「議会人の危機管理術」をテーマに講演が行われました。

一般会計予算に7億8,671万円余を 追加補正 総額156億271万円

平成22年山梨市議会6月定例会は、6月7日に招集され、25日までの19日間の会期で開催されました。この定例会では、22年度補正予算および条例の制定・改正など議員提出議案3件・市長提出議案18件を審議しました。審議の結果、議員提出議案1件、また市長提出議案のすべてを原案のとおり可決・承認しました。また、諮問1件について、同意を行いました。

最終日の25日には各組合同議会議員について選挙が行われました。

おもな内容

定例会議案等審議結果	2	常任委員会の審査	7
市長所信表明	2	議会活動日誌・編集後記	8
市政一般質問	3～6		

6月定例会議案等審議結果

【議員提出議案】

- 山議案第五号
永住外国人に対する地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出について（●閉会中の継続審査）
- 山議案第六号
子ども手当から学校給食費等義務教育に必要な費用を差し引くことについての意見書の提出について（●原案否決）
- 山議案第七号
山梨市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について（●原案可決）

【市長提出議案】

原案承認

- 議案第四十三号
専決処分承認を定めることについて（山梨市税条例の一部を改正する条例について）
- 議案第四十四号
専決処分承認を定めることについて（山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について）
- 議案第四十五号
専決処分の承認を求めることについて（山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）

原案可決

- 議案第四十六号
山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第四十七号
山梨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第四十八号
山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について
- 議案第四十九号
山梨市父子家庭福祉手当条例を廃止する条例について
- 議案第五十号
平成22年度山梨市一般会計補正予算（第1号）
- 議案第五十一号
平成22年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第五十二号
平成22年度山梨市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第五十三号
平成22年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第五十四号
平成22年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第五十五号
平成22年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第五十六号
平成22年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第1号）

- 議案第五十七号
平成22年度山梨市水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第五十八号
平成22年度山梨市病院事業会計補正予算（第1号）
- 議案第五十九号
東山梨行政事務組合規約の変更について
- 議案第六十号
山梨市消防団員公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 諮問第一号
人権擁護委員候補者の推薦について（鶴田熙人、天野五十鈴、日原元之、坂本真紀子の4名の再任）

市長所信表明〈要旨〉

6月定例会初日、市長より具体的施策及び提出議案の説明がありました。

〈山梨市中期財政計画〉

質の高い行政サービスを提供していくためには、これまで以上に将来を見据えた堅実な財政運営が必要である。

市税の減収、地方交付税も減額が見込まれるため、第二次行財政改革に基づき、地域の意見を聞く中で財源の確保を図りたい。

このため、歳入歳出の推移、基金や地方債の残高、財政収支等を現状見込み得ることが

できる一般財源を基に本年度から5か年の中期財政計画を策定し、毎年度、社会経済情勢の変化を踏まえて計画の修正を行いながら財政運営を行うものとする。

予算規模は、合併後各年度の決算における総額と一般財源の比率から標準財政規模に對する145%以下、概ね150億円以下が望ましいと考える。

〈子宮頸がん予防ワクチン経費の助成〉

子宮頸がんは、唯一の「予防可能ながん」であり、11歳から15歳に對するワクチン接種により、発症の危険性を高い確率で軽減する効果が期待できるため、重篤化による医療費の抑制、健康の保持・増進と少子化対策等を目的として、費用の上限を4万5千円とする「山梨市子宮頸がんワクチン予防接種費用助成事業」を制定する。

接種対象者は、本市に住所を有している小学校6年生と中学校3年生も対象とする。

〈庁舎南棟の活用計画〉

南棟の整備は、市民を代表する区長会を初め各種団体の代表者と学識経験者で構成する山梨市シティーセンターの活用を考える市民懇話会や各地域審議会、市議会に計画内

容を提示し、ご理解を頂いた上で、合併特別債の活用ができる平成26年度までに整備を図りたいと考えている。

〈市長交際費について〉

全市民を対象に市長が通夜、告別式に原則的にすべて参列していたが、社会経済情勢等を参考とし、市長公務と事務の軽減及び交際費の抑制を図ることを目的として、甲意基準の見直しを行った。

全市民を対象に弔電により甲意を表し、市長が参列するものは市政功労章受章者及び現職の市議会議員等に改めた。また、市長交際費の使途について、本年4月分からの状況をホームページで6月末に公表すべく作業を進めている。

〈山梨市一般会計補正予算〉

当初予算が骨格だったため、子宮頸がんワクチン予防接種費用助成、障害児・者の地域生活支援事業の拡充、エコライフ事業、子育て創生事業などの政策的事業と、国庫補助制度の改正など事業費の見直しに伴う補正であり、歳入歳出予算にそれぞれ7億8千671万円を追加し、総額156億271万円にするものである。前年度も同様に当初が骨格、6月に政策経費を計上しており、比較すると0.42%減の緊縮予算である。

市政一般質問

代表・一般

平成22年6月定例会の市政一般質問及び質疑が6月21日・22日に行われ、代表質問を4人の議員が、一般質問を7人の議員が行い、市政全般について市の考えをいただきました。
質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

詳しい内容を知りたい方は、会議録を市民図書館・公民館・情報公開コーナーなどに備えますのでご覧ください。また、会議録は市ホームページにおいても公開しています。

代表質問

新風会 古屋弘和 議員



●山梨はゆかりの地「尾崎行雄」に見る市長の政治姿勢について

●提案型、協働のまちづくりについて

●中期財政計画について

●小原東、東後屋敷線改良事業について

●山梨市消防署東側の南反保地域の市街地整備について
●エコライフ推進に向けた取り組みについて

●危機管理体制について

●開示請求及び情報公開について

〈主な質問と答弁〉

問 山梨はゆかりの地「尾崎行雄」に見る市長の政治姿勢について

尾崎行雄は憲政一筋に生き、長きにわたり歴史を変える活躍をした。県内の氏ゆかりの地の1つに、万力公園の碑がある。尾崎行雄という山梨にゆかりのある人物に対し、感じるものがあるか伺いたい。

答弁 市長

権力に屈せず、真の民主主義、民主教育を目指し、63年に及び議員生活を送った尾崎氏の生き方の根底にある正義感と人類愛の精神はすべての人が見習うべきものである。市民の意向を十分に把握し、市民の目線に立った行政運営を目指していきたい。

問 提案型、協働のまちづくりについて

山梨市提案型、協働のまちづくり支援制度の実施内容を伺いたい。

答弁 市長

本制度は、市民、市民活動団体、NPO法人及び行政区等が、市と協働の原則に基づいて事業を実施するものである。提案型事業支援は、社会的課題や地域課題等の解決に向けた提案を受けて、公益性の高い事業に対して1事業50万円を限度として委託形式により実施する。公募型事業支援は、市の事務事業のうちから協働事業として抽出した事業について、公募により選考された団体と市が協働で実施するものである。

問 小原東、東後屋敷線改良事業について

街の活性化、人口の増加が見込まれ、税収確保という点からも必要な事業だと考えるが、市長の考えを伺いたい。

答弁 市長

この事業については、連邦屋敷付近から市道青梅支線交差点までの580メートルについて、平成23年度完成に向けて取り組んでいる。本道路の延伸については、県道休息山梨線のバイパスとして、県事業での建設を改めて知事に要望する。

問 消防署東側の南反保地域の市街地整備について

人、地域、自然が奏でるエコタウンとしての立地条件も兼ね備えた素晴らしい地域だと考えるが、整備についての市の考えを伺いたい。

答弁 市長

本地域の整備の必要性、重要性を深く認識し、南反保地域整備推進経費の補正予算を計上したところであり、この地域にふさわしいまちづくりの構想を地域と話し合い検討していきたい。

市民の会 小野鈴枝 議員



●山梨市駅南地域の整備について

●万力公園について

●エコライフの推進に向けた取り組みについて

●庁舎南棟活用計画について

●男性の育児休暇について

●独居老人について

●介護保険について

〈主な質問と答弁〉

問 山梨市駅南地域の整備について

山梨市総合計画において道路交通体系の整備・充実の主要事業である山梨市駅南地域の整備について伺いたい。

答弁 市長
山梨市駅南地域の特性

を念頭に置き、住民生活の利便性と快適性、安全性に配慮した市街地づくりと交通基盤の整備方策や地域の将来像を検討していくために、整備推進経費を予算計上した。今後も駅南地域まちづくりの会の皆様とともに様々な視点から検討していきたい。

問 万力公園について

万力公園の適切な管理は行われているのか。また、今年度の管理費予算についても伺いたい。

答弁 市長

管理経費については、園内全域の高木剪定委託料等約1千万円を予算計上した。また歌碑については、先般歌碑の回りの除草や文字の清掃を行った。山ユリ等の万葉植物も補植をしていき、公園を訪れる方々に楽しんでもらえるような管理をしていく。

問 エコライフの推進に向けて

取り組みについて
市内の14小中学校での、「ゴーヤを使つての「緑のカーテン」」に関連して、種の紹介や作り方の講習などの案内の窓口を設けてはいかがか。

答弁 市長

エコハウスやまなしを一般家庭や企業への案内窓口として、身近で実践できる環境に優しい取り組み、エコライフをPRしていきたい。

問 独居老人について
市では水道週間に簡易的な水道無料点検、修理を行っているとのことだが、80歳以上の独居老人にこのようなサービスが定期的に行われているのか。また社会的弱者の方々からの依頼の対応について市として業者に指導等をお願い出来ないものか。

答弁 雨宮俊彦福祉事務所長
毎年6月の水道週間に合わせ、市内の水道組合が80歳以上の独居老人宅の水道施設の点検・修繕を行っている。高齢者や障害者からの修繕等の依頼について、市が特定の業者を紹介することはできないので、建設工事業者組合や水道組合を通して、迅速な対応を各業者をお願いしていく。

真和会 雨宮悦子 議員



- 道路関係について
- タウンミーティング「まちづくり懇話会」について
- まちづくり交付金事業の事後評価結果について
- 市立図書館の充実について
- 農業共済掛金助成について
- 福祉関係について

- 万力大橋東詰の笛吹川河川整備について
- 「ベイシア」・「さえき」の出店計画等について
- 庁舎内業務用パソコンの管理体制について
- 市立小中学校の耐震補強事業について

〈主な質問と答弁〉

問 県道三日市場南線改良事業について

答弁 山梨郵便局北の信号以西の道路の未改修箇所は僅かであるが、信号以东の道路は未着手同然である。今後の事業について市の説明を伺いたい。

答弁 市長
この事業は、山梨県が事業主体であり、市は県に協力する立場で、主に用地交渉等の実務を行っている。本年度は、交差点東側について、交差点部分の用地交渉に重点を置き、計画区間の早期完成に向けて取り組みたい。

問 市立図書館の充実について

答弁 市長
現在の市民会館は河川敷の占用であるため1階部分の増築は許可されず、市民会館内での図書館の拡充、充実は難しい。市所有の空き施設

を利用した市の耐力に見合った図書館整備計画を策定したい。

問 タウンミーティング「まちづくり懇話会」について

答弁 市長
本年度は、これまでの開催状況を踏まえ、開催場所、テーマなどについて検証し、生活に密着した生の声がいただけるようなテーマを設定・企画していきたい。

問 市立小中学校の耐震補強事業について

答弁 角田寛学校教育課長
小中学校校舎耐震補強工事及び大規模改修工事を行った10校の事業費と22年度屋内運動場の耐震補強工事を行う8校の合わせた総事業費は、36億7千503万円余を見込んでいる。

今後、市の大型事業について、事業終了時に財源内訳を含めホームページに掲載していきたい。

山和会 向山輝 議員



問 市政運営に対する基本姿勢について

答弁 市長
市民党という言葉を使うかどうかはともかく、どのような政策が市民福祉の向上につながるのか、将来の山梨市の発展に貢献できるのかを常に考え、市政運営を推進していきたい。

- 総合計画の平成19年度以降の各年次別進捗状況について（尚、第2次行財政改革大綱及び中期財政計画を含める中で）
- 有限会社みとみ他観光施設の運営形態と障害者割引制度について
- 子ども医療費助成の対象年齢引き上げについて
- 岩手地区久保堰について
- ぜんそく薬の補助について
- 子ども医療費助成・新制度について
- 子ども手当について（事務処理等）
- 公共施設等の不用品処理と教育設備の充実等について

市長の政治姿勢について「市政運営において一党一派に偏らないことが肝要であり、私は既に所属政党を離党している」と述べられたが、「市民党」を標榜するということか。

答弁 市長
有限会社みとみ他観光施設の運営形態と障害者割引制度について

問 有限会社みとみ他観光施設の運営形態と障害者割引制度について

答弁 市長
出資者の市としては、経営の細部にわたる点検、具体的な改善策の立案を指示しているが、抜本的な見直しも必要であると考えている。また、道の駅とともに公営の3温泉を初め、オーチャードビレッジ・フフなど、それぞれの施設が課題を抱えており、まずはこれらを整理する中で管理のあり方を検討していきたい。

問 子ども医療費助成の対象年齢引き上げについて

答弁 市長
子ども医療費助成制度の対象年齢について、山梨市では平成22年4月1日から0歳から9歳まで拡大されたが、他市

を参考に、山梨市でも対象年齢を1歳から引き上げたい。

町村との比較の中で、対象年齢の引き上げの考えはあるか。

答弁

市長

厚生労働省の調査結果によると、平成21年4月現在で通院に対する助成を就学前まで実施している都道府県は全国で31件であり、これを5歳未満までとする本県の助成水準は極めて少ない。こうした状況の改善が望まれるところであり、県市長会等を通じて、県の助成対象の拡大を促し、県下全体で助成対象を小学校6年生まで引き上げていくよう要望する。

問

岩手地区久保堰について過去の議会において、市から「県・国と相談する中で、隼・岩手堰の水を代替え措置として県営ため池等整備事業で岩手へ持っていく」との回答があったが、県・国との協議の結論が出たのか伺いたい。

答弁

市長

久保堰の取水口の改修改良については、平成21年度において、河川管理者の県と事業執行に向けて協議済みである。今年度については、河床変動等の現地調査を実施し、その成果に基づいて恒久的に取水可能な改良工事を県、市と協議の上、実施する計画である。

一般質問

日本共産党

吉田 昭 男 議員

- エコ先進自治体としてさらなる施策の推進を
- 山梨市駅—東山梨線の東部への延長について
- 生きてゆくための最後のセーフティネットとして生活保護の確立を
- 市内経済を活性化させる住宅リフォーム助成制度と総合的な住宅相談窓口の設置を

〈主な質問と答弁〉

問

「剪定枝をチップ化して生ゴミと混合し、堆肥化や土地改良剤として活用する事の事業化」や「し尿汚泥を堆肥化や燃料とすること」を提案する。

答弁

市長

剪定枝のチップと生ゴミを併せての堆肥化や土壌改良剤の活用には、有機性廃棄物リサイクル推進施設の整備が必要となる。他の実証実験と並行して、調査研究したい。また、し尿汚泥については、第一に堆肥化を中心に研究を進めたい。

問

生きてゆくための最後のセーフティネットとして

生活保護の確立を

窓口での相談体制が、市民の立場に立った親切丁寧な相談体制になっていない。また、保護受給の意志のある人には申請用紙を渡すのが原則と考えるがどうか。

答弁

雨宮俊彦福祉事務所長 窓口対応について、相談件数及び被保護世帯の増加に対応するため、新年度からは職員を1名増員し、ケースワーカー3人と査察指導員1人の4人体制で対応している。職員は相談者の立場に立つて親切に対応し、わかりやすく、より一層誠実な対応をすべく努めている。また、相談の後、申請の意思が確認できれば申請書を交付し、受理している。

山和会

大村 政 啓 議員

- 市職員の第二次適正化計画と諸手当の見直しについて
- 過疎計画の今後について
- 合併特例債活用による今後の諸施策と財政健全化について
- 社会資本整備（県・市道）と農業基盤整備（農道）等今後の事業計画について

〈主な質問と答弁〉

問

市職員の第二次適正化計画と諸手当の見直しについて

今後5年間の人口減少等を考慮する中で、職員数についてのどのような数値目標を立てているか。

また、市職員の手当等を行政改革の観点から見直しを検討する考えはあるか。

答弁

市長 平成22年4月1日現在の職員数の削減状況は、目標計画より11人削減し、393人となり目標を達成している。職員数の数値目標については、事務事業の見直し、指定管理者制度の導入、市民との協働、職員の人材育成等により、効率的な職員配置を進めながら設定する。職員の種類手当については、労働に対する対価や労働環境も考慮して定められているものであり、見直しは、国・県の対応に沿って行っていく。

問

合併特例債活用による今後の諸施策と財政健全化について

答弁

市長

平成21年度末における合併特例債の借入れ総額は、基金分9億5千万円、事業分41億4千400万円の合計50億9千400万円である。合併特例債の今後の計画である。

るが、新市まちづくり計画に掲載されている基幹道路網の整備など、基盤整備事業について発行していきたい。

山和会

佐藤 勇 議員

- 農業問題について
- 総合グラウンド建設について
- 通学路の安全について

〈主な質問と答弁〉

問

農業問題について 山梨市の農業経営安定のため、果樹共済助成金のアツプについて伺いたい。

答弁

市長

市としては、あらゆる災害が対象となる半相殺減収総合方式へより多くの農家が加入できるように、半相殺減収総合方式の掛金にメリットがある助成率を研究していきたい。

問

通学路の安全について 日下部小学校南のはなみずき通りと市道小原東間反保六号線との交差点は、交通量も多く事故発生の危険性が高い。信号機設置の要望について市の見解を伺いたい。

答弁

市長

該当箇所の信号機設置については、日下部警察署並びに関係機関との協議の上で、押しボタン式の信号機が本年8月に設置工事の運びとなると聞いている。

公明党

大竹裕子 議員

- 事業仕分けについて
- 各種予防ワクチン接種への助成制度について
- 観光施策について
- 土地開発公社について
- 国民年金法並びに国民健康保険法の一部改正に伴う本市の対応について
- 高齢者運転免許自主返納支援事業について

〈主な質問と答弁〉

問 各種予防ワクチン接種への助成制度について

乳幼児や高齢者等に対して、命にかかわる細菌性髄膜炎を引き起こすヒブや肺炎球菌の感染を予防するためのワクチン接種の公費助成について市長の見解を伺いたい。

答弁

市長

ヒブワクチン並びに小児用肺炎球菌ワクチンは有効性が高く、厚生労働省が定期接種化に向け検討を始めている。市も公費負担による定期接種として実施すべく、関係機関への要望を行っている。

問

高齢者運転免許自主返納支援事業について

自主返納者に、バス無料券やタクシー券の補助や奨励金の交付等の支援事業を本市においても実施するよう提案する。

答弁

野沢信次市民生活課長

高齢者ドライバーによる交通事故は増加傾向にあり、広報活動を含め交通安全対策を進めていく必要がある。自主返納支援事業についても、先進自治体の事例等を調査・研究していきたい。

公明党

木内健司 議員

- 市民提案型協働のまちづくり支援事業について
- 新たなごみ処理施設について
- 牧丘・三富地域の指定ごみ袋について

〈主な質問と答弁〉

問 市民提案型協働のまちづくり支援事業について

募集要綱の応募資格では、この制度の創設に伴って、新規団体を立ち上げて応募することが原則できない。また、優れた提案を持つ個人や10人未満の団体に応募資格がない。これら2点についてどのように対処するのか。

答弁

市長

新規の団体や個人及び10人以下の団体の提案については、市民生活課の協働の窓口にご相談をもらうことで、他団体との連携や、ネットワークの拡大、さらにアドバイザーとしての参画が考えられるところである。

問

牧丘・三富地域の指定ごみ袋について

現在は45リットルの1種類のみである牧丘・三富地域の指定可燃物ごみ袋について、種類を増やし利便性の向上を図ることを提案する。

答弁

武井信治環境課長

先般、東山梨環境衛生組合において、構成市による協議の結果、ひとまわり小さい30リットルの袋の作成が決定した。秋頃には取扱店で販売開始できるよう、準備を進めている。

山和会

飯嶋賢一 議員

● 旧山梨市庁舎の現状と今後の活用について

● 畑総15号道路整備について

〈主な質問と答弁〉

問 畑総15号道路整備について

江曾原地内の未整備区間の整備・延伸をどのように考えるのか伺いたい。

答弁

市長

未整備区間について、県が本年度から導入する「農村地域活性化農道整備事業」により、平成22年度から24年度までの3年間で、総事業費6億円程度をかけて整備されることになっている。

問

水道事業について

水道管の耐震化について

当局の考えを伺いたい。また、市内にはどのくらい石綿管が存在するのか。石綿管の切り替えるのにあと何年かかり、今後の事業はどうなっているのか。

答弁

土橋真仁水道課長

水道管の耐震化は多額の費用を要するため、更新管路の優先順位の検討や他事業との調整を図りながら、更新を進めたい。

石綿管の更新は平成19年度に着手し、現在6千766mが点在している。目標年次の平成28年度までに耐震管による更新を終了したい。

市民の会

古屋雅夫 議員

● 効率・効果的行政運営に向けた事務事業評価等」の充実に向けて

● 都市計画道路「市道北中東通り線」の計画、実施に向けて

● 「ホームページ等による審議会等の情報公開」の推進について

● 「山梨市提案型協働のまちづくり支援制度」の継続に向けて

● 「ホームページ等による審議会等の情報公開」の推進について

● 「山梨市提案型協働のまちづくり支援制度」の継続に向けて

〈主な質問と答弁〉

問 「効率・効果的行政運営」に向けた事務事業評価等」の充実に向けて

市の事務事業評価が施策及び

予算等に反映される仕組みづくりと情報公開が必要である。一方、各事業内容の評価については、市民が関心を寄せる工夫、第三者評価体制の構築及びホームページなどによる事業の透明化等の充実が必要と考えるかがか。

答弁

市長

ハード事業、ソフト事業、施設管理に適した評価方法の導入の検討を行い、事務事業評価制度の構築に向けた取り組みを継続し、評価の客観性や透明性を高める。内部での評価制度の確立を図った上で、評価内容の公開、外部評価の導入なども研究課題としていきたい。

問

都市計画道路「市道北中東通り線」の計画、実施に向けて

小中学校通学の安全性や避難経路としての機能を損なわない道路整備に向けた計画の推進の具体化が必要であり、計画の前進と工事施行の展望が開けるよう市の考え方を伺いたい。

答弁

市長

事業化については、現在整備中の主要道路の進捗状況や整備状況を勘案し、整備優先度の評価結果と住民のコンセンサス、まちづくりの面から整備の必要性などを総合的に検討し、判断したい。

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は、6月23日に開催され、付託された議案について慎重に審査が行われました。

各常任委員会における質疑の要旨(抜粋)は次のとおりです。

総務

○議案第43号について

問 たばこ税の値上げに伴い、増収は見込めるのか。

答 たばこ税は、近年の健康志向により毎年減収となっている。今回、値上げにより禁煙される方の数を、一割強として試算すると10月からの、半年分ではあるが、増収は見込めると思われる。

○議案第50号について

問 市民から防災行政無線がある。防災行政無線の難聴地域の解消とデジタル化について伺いたい。

答 防災行政無線の聞こえにくい地域について、今年度中にデジタル化に向けて調整中であるので、聞き取りにくい場所を市へ話していただければ、現地調査する。

問 延長された過疎対策事業債の対象地域はどこか。またどんな事業へあてているか。

答 対象地域は、牧丘、三富地域である。また道路行政等の事業に過疎対策事業債の発行をしている。

委員会審査後、山梨市北の旧吉田邸及び山梨市消防団三富分団第5部詰所の現地調査を行いました。



三富分団第5部詰所現地調査の様子

建設経済

○議案第50号について

問 農林水産費の果樹振興費及び農業担い手対策費とは具体的にどのようなものか。

答 果樹振興費については、果樹加工施設1件に対する県からの補助である。また農業担い手対策費は、新規就農者等による農業用機械や施設の導入等に対する国からの補助で、乗用草刈機やパイプハウス等9件に対しての要望が採択されたものである。

問 歳入における、国庫支出金の、社会資本整備総合交付金は複数の課で分けられているのか。また、あらかじめ交付額は決まっておらず、その中で各課へ振り分けているのか。

答 従前の事業別の補助金が今年度より一つの区分の交付金として交付されることとなったので、複数の課で充当している。また、交付額については、それぞれの課が事業計画を基に予算の申請をしている。次年度以降は、事業ごとに自由度が高く、創意工夫が生かせる、総合的な交付金として創設される見込みである。

○議案第57号について

問 石綿の水道管について更新にどの程度の期間が掛かるのか

答 距離にしておよそ6千メートル強が残っており、10カ年の更新計画に基づいて完了する見込みである。また、下水道等の工事予定地区については、関係課と連携を取り、工事費用の軽減を図りながら水道管の更新を行いたい。一方で工事予定が無い地域については、可能な範囲で早期に更新工事を行ってきたい。

委員会審査後、かのがわ古道、市道石森山南線、市道小原東・東後屋敷線、市道落合正徳寺線、畑総15号道路について現地調査を行いました。



かのがわ古道現地調査の様子

教育民生

○議案第50号について

問 山梨市では、脱水汚泥の処理を県外へ搬出しているが、市内での処理について検討しているか

答 脱水汚泥の処理は、静岡県内の民間焼却場へ委託し、最終処分は、長野県小諸市内で行っている。現在、脱水汚泥を堆肥化するための事業経費やランニングコスト等について資料の収集等調査を行っている。今後、民間事業者による脱水汚泥の堆肥化の処理委託も含め、検討を進めている。

○議案第54号について

問 介護保険給付費の適正化のために、介護サービス利用状況を、介護給付費の通知として発送する、という話が以前あったが実施状況はどのようなになっているか。

また、介護給付費の通知以外に、給付内容の適正化のためにどのような取り組みを行っているか

答 介護給付費の通知については、給付内容の適正化の方策の一つとして、昨年度導入すべく予算計上し、県の長寿社会課や近隣市町村の実施状況等の情報収集を行った。実施している市町村の状況から、費用対効果の面を考慮し、昨年度は実施していない。

今後は、市単独の適正化だけではなく、事業所やケアマネージャー等を巻き込みながら、適正化の新たな方策を検討していく。

委員会審査後、山梨市立図書館、日下部小学校通学路、牧丘支所展示室について現地調査を行いました。



教育民生常任委員会を審査する



故志村忍議員

平成 22 年 5 月 18 日、志村忍議員が逝去されました。6 月定例会初日、議場において、議員を代表して雨宮巧議員が追悼演説を行いました。また志村議員の夫人よりお礼のあいさつがありました。

議会活動日誌



5 月 25 日、甲州市勝沼中央公民館にて甲州・笛吹・山梨三市の議員による合同研修会が行われ、議員が出席しました。研修では、全国市議会議長会法制参事の廣瀬和彦様による「政務調査費」及び「議会改革」についての講演をいただき、理解を深めました。

お知らせ

Table with 2 columns: Session type (閉会, 開会) and dates (29日, 2日, etc.).

- 5月... 峡東地域市議会議員合同研修(25日)
第86回全国市議会議長会定期総会(26日)
山梨市国際交流推進委員会理事会・総会(27日)
総務常任委員会(27日)
観光地美化清掃(28日)
第38回川上村山菜まつり(30日)
平成22年山梨市水防協議会(31日)
6月... 山梨市中小企業労務改善協議会総会(1日)
議会運営委員会・議員全員協議会(3日・24日)
平成22年山梨市議会6月定例会(7日~25日)
万葉うたまつり・ホテル観賞会(12日・13日)
7月... 教育民生常任委員会現場視察(6日)
山梨市緑化推進委員会総会(7日)
議会だより編集委員会(13日)
第6回山梨市少年野球大会(17日・18日)
農業体験ジャガイモ掘り(18日)
晴風園地域ふれあい納涼会(22日)
議員全員協議会(26日)
8月... 議会運営委員会・議員全員協議会(5日)
山梨県市議会議長会合同研修(11日)

山梨市議会会派構成 (〇印 会派代表)

Table listing political parties and their members: 日共産党 (吉田昭男), 公明党 (大竹裕子, 木内健司), 新風会 (山田 稔, 古屋忠城, 古屋弘和), 市民の会 (雨宮 巧, 小野鈴枝, 古屋雅夫), 真和会 (秋山榮治, 高原信道, 雨宮悦子, 古屋保男), 山和会 (向山 輝, 岩崎友江, 飯嶋賢一, 佐藤 勇, 勝村 力, 大村政啓).

編集後記

◆立秋とは名ばかりでまだまだ残暑の厳しい今日この頃ですが市民の皆様お元気でしようか。
◆議会だより第22号をお届けします。内容は6月定例会が主な内容となります。
◆今回は、代表質問を2問から4問に、一般質問を1問から2問と掲載数を増やし内容を充実させました。
◆言うまでもなく、議会は市民の視点に立ってしっかりと議論し、日々活動しなければなりません。
◆紙面の都合でその多くをお知らせできないのは残念ではありますが、市民本位の親しみと読み易さをモットーに編集して参ります。
◆ご意見・ご感想をお待ちしております。

議会だより編集委員会

- 委員長 大村 政啓
副委員長 飯嶋 賢一
委員 高屋 信道, 秋山 忠城, 雨宮 悦子